

宇治市地域コミュニティ推進検討委員会

提言の骨子(案)

| |
|--|
| 1. はじめに |
| (1) 委員会設置の背景・目的および開催経過など |
| 2. 地域コミュニティの現状 |
| (1) 地域コミュニティ組織 ・町内会・自治会と町内会・自治会の連合組織、テーマ型市民組織について |
| (2) 地域の実態調査結果(町内会・自治会長アンケート、地域コミュニティ意識調査) ・町内会・自治会の多様性 ・様々な分野で活発に活動されている地域がある一方、未加入・脱会や役員のなり手不足など地域コミュニティ基盤の脆弱化が見られる地域がある ・メリットがわからない、近所付き合いが面倒といった個人の意識と、役員のなり手不足、参加意識の低下など、町内会・自治会の課題の関連性 |
| 3. 提言 |
| (1) 町内会・自治会の重要性の啓発および加入・設立促進 ・広報誌の活用、パンフレットの配布、開発業者への指導など具体的方策 |
| (2) 地域活動の担い手の育成 ・テーマ型市民組織を含めた担い手育成施策の必要性 ・研修・セミナーなどの担い手育成施策の実施 ・学校教育・社会教育との連携 |
| (3) 地域活動の情報や課題を共有できる仕組みづくり ・町内会・自治会の手引き・事例集の作成、ホームページ等の活用 ・地域住民が身近な地域課題や課題への取り組み事例などについて、意見・情報交換できるワークショップなどの機会づくり |
| (4) 市組織の強化 ・多様な地域事情に対応することができる市の庁内連携・相談機能 ・地域活動情報を収集し、把握、提供できる組織づくり ・協働のための職員の育成 |
| (5) 地域連携ネットワークのあり方の検討および連携できる仕組みづくり ・先進事例にみられるような理想としての小学校区での地域コミュニティ組織 ・地域コミュニティの組織・単位の理想と宇治市の現状を踏まえたあり方 ・町内会・自治会、町内会・自治会の連合組織、テーマ型市民組織など様々な地域住民団体等が連携できる仕組みの検討 |
| (6) 地域活動支援施策のあり方 |